

高速鉄道 運輸職員

交通局
鉄道管理部
駅務サービス課

深田 知寛

仙台市出身
令和4年度採用



One day Schedule

- 9:15 出勤・点呼
- 10:00 窓口業務
- 12:00 休憩
- 13:00 窓口業務
- 15:00 構内巡回
- 17:00 窓口業務
- 18:00 休憩
- 19:00 窓口業務
- 20:00 休憩
- 21:00 窓口業務
- 22:00 構内巡回
- 23:00 窓口業務
- 24:20 最終電車見送り
- 24:30 終業点呼・仮眠
- 5:15 起床点呼・営業開始準備
- 7:00 休憩
- 8:00 窓口業務
- 9:15 退勤点呼

仙台市の基幹交通である地下鉄南北線と東西線の運転業務を行う運転士や、地下鉄駅で券売機や改札機の操作案内などの窓口業務を行う駅務員として、安全安心で快適な市民の足を担う業務に従事します。時には、改札機の異常時の初期対応、急病人・けが人の救護や災害時の安全確保に当たるなど、業務内容は多岐にわたります。



お客様目線に立つ駅務員としての自覚。

ワーキングホリデーの制度を利用して1年間外国に滞在した経験を持つ深田さん。そこで感じたのは日本の鉄道のすばらしさだということです。「日本の鉄道は車両がきれいですし、基本的に定刻通りに運行します。遅れる場合はアナウンスもある。日本では当たり前だと思っていたことが外国ではそうではないのだと知ったとき、はじめて鉄道関係の仕事に興味



が湧きました」。地下鉄は仙台市民にとって馴染み深い鉄道の一つで、自身も子どもの頃から利用していたこともあり、採用試験の受験を決めたという深田さん。現在、勾当台管区で、

駅務員を務めています。「窓口業務は基本的に一人で担当しますが、車両の故障やエスカレーターの故障などがあった場合は、他の職種の職員や民間の事業者とともに協力して対応します」。最もやりがいを感じられるのは、お客様から感謝の言葉をいただくときです。「ある高齢のお客様に道を尋ねられたとき、地上まで同行して説明したことがありました。そのお客様が帰りにわざわざ窓口立ち寄り「ありがとうございます」と言ってくれたのです。短い時間でおお客様のニーズに応えられず反省することも多いので、そのときの経験は今の私の糧になっていると感じます」。

地下鉄の駅務員として勤務していると、仙台七夕まつりや定禅寺ストリートジャズフェスティバルといった地下鉄沿線でのイベントを通して季節を感じられるところも魅力の一つだと話す深田さん。「地下鉄は多くの市民の生活を支える“足”であり、駅務員も運転士もなくてはならない存在です。そのため、直接お客様に接する業務から裏方業務までさまざまな仕事の経験を重ね、どんなときも最善の判断ができる職員を目指していきたいと思います」。



Private

大学時代の友人とドライブに出かけます。秋保にあるジェラート屋さんがお気に入り、日帰り旅行ではよく行きますね。仙台は自然や温泉がたくさんあるので、そうしたところを巡ってリフレッシュしています。

※24時間勤務は月に8回程度あり、基本的には24時間2名体制で勤務します。